

平成30年度 船舶調査計画書

1 船 名 北 光 丸 (北 海 道 区 水 産 研 究 所)

2 総トン数・馬力数 902トン 4,000馬力

3 調 査 名 親潮広域調査・道東沖沿岸高密度調査・気候変動影響評価調査・道東沖サンマ漁場環境調査・放射能調査
 (予定している予算科目名: 国資委託「サンマ」(1AA-402-72)、沿資補助「スケトウダラ」(1AB401)、沿資委託「漁場形成」(1BB401)、科研費基盤A(1BA-308)、交付金課題(2AA101, 3AA101, 3AB103, 1BA102, 3AB102, 3AB104, 3AA502))

4 調 査 期 間 平成 30 年 9 月 28 日 ~ 平成 30 年 10 月 9 日 (12日間) (航海数:1航海)

5 担当研究所等 北海道区水産研究所 生産環境部 生産変動グループ
 責任担当者 : 黒田 寛
 電 話 : 0154-92-1723

6 乗船調査員等

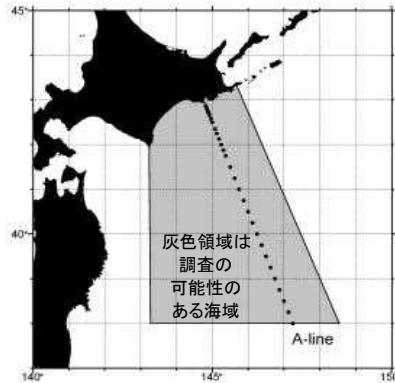
	氏 名	所 属	期 間
研究所等職員 :	黒田 寛	北水研((併)中央水研)	9月28日 ~ 10月9日
	葛西広海	北水研	9月28日 ~ 10月9日
	谷内由貴子	北水研	9月28日 ~ 10月9日
契約職員 :	未定		

7 調 査 目 的 親潮域・混合域の海洋構造および低次生態系構造の変動を把握し、気候変動や海況変動が漁業や資源変動に与える影響を評価するため、A-lineにおけるモニタリングを行う。得られた水温塩分データは、速報値として、TESAC通報を通じてGTSPPIに配信する。さらに、海洋環境データは海洋モデルの出力を校正するために、また、海況予測システムFRA-ROMSを制御するために利用する。道東陸棚沿岸域などにおいて高解像度集中観測をおこない、当該海域における水塊構造、流動場、および生物環境を把握し、漁場形成・漁況予測事業における日本全域超高解像度版FRA-ROMSのチューニングに利用する。また、サンマ漁場環境を把握するために漁場周辺での海洋環境パラメーターを取得する。

- 8 調 査 項 目
- ① 海 洋 観 測 : 表面水温、XCTD観測、CTD観測、濁度センサー観測、PRR観測、キャローセル採水(クロロフィル、栄養塩、植物プランクトン、微小動物プランクトン、溶存酸素、フローサイトメトリー)、ADCP観測、LADCP調査、OPCS観測
 - ③ フラウンクトン調査 : プランクトン採集(NORPACネット、BONGOネット)
 - ⑨ そ の 他 調 査 : 動植物プランクトンの船上培養実験調査

9 調 査 海 域 道東沖沿岸域、親潮域、混合域

10 調 査 海 域 図



11 運 航 予 定 表

月日	項目	運航状況				備考
		停泊	航海	調査	予備	
9月28日	釧路出港		1	9	2	
10月9日	釧路入港					台風シーズンのため予備日が必要
	合計		1	9	2	

12 消費燃油予定量 油種: 重油 (軽油) 消費量 72 KL